

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2006 vol.11

「地域住民向け健康講座」

『HAT健康セミナー』4年目を迎えて



左より松井泌尿器科部長・守殿院長・福留俊彦様・岡林副院長

『受講証』の贈呈行われる！

「HAT健康セミナー」は、神戸赤十字病院が主に地域住民の皆さまを対象に、定期的に開催している健康講座です。平成15年8月の開院以来、「HAT健康セミナー」を3ヶ月に1回のペースで開催して参りまして、平成18年8月で12回を終了しました。これまで12回の参加者数は251名、延べ495名になりました。多くの方にご参加いただき有難うございました。皆さまの健康づくりに、お役に立てていれば幸いです。

8月2日に開催しました第12回目の「HAT健康セミナー尿漏れ・排尿障害について」（泌尿器科部長 松井隆）では、第1回から12回まで続けて出席していただいた方が1名おられました。福留俊彦様（72歳 神戸市中央区在住）で、セミナー終了後、守殿貞夫院長から感謝の気持ちを込めて、受講証とささやかな記念品の贈呈が行われました。これから先も、出席カードがいっぱいになった方がおられましたら、順次、受講証の贈呈を行いますので、皆さまどうぞ奮ってご参加下さい。

平成18年8月で当院は開院後3年経ちましたが、開院当初から、病院スタッフだけでなく、かかりつけ医をはじめとする地域の



医療機関の先生方や、患者さまやご家族、さらに地域住民の皆さまと共に神戸赤十字病院を創っていくという考えで病院創りを進めて参りました。その一環として、このような健康講座を企画し、多くの方にご参加いただき今日に至りました。これからも、よりよい病院を目指して病院創りを進めていくとともに、「HAT健康セミナー」も第13回（平成18年11月1日「胸痛・背部痛について」、第14回（平成19年2月7日「頭痛・めまいについて」）と続けていきますので、健康づくりや病気を知っていただくためにお役立て下さい。皆さまのご参加をお待ちしております。

回	年月日	セミナー内容
1	平成15年11月5日	糖尿病について
2	平成16年2月5日	高血圧について
3	平成16年5月12日	腰痛について
4	平成16年8月4日	脳卒中について
5	平成16年11月10日	肝疾患について
6	平成17年2月2日	高脂血症について
7	平成17年6月1日	眼の病気について～白内障・緑内障～
8	平成17年8月3日	たばこの害について
9	平成17年11月2日	こころのカゼひき「うつ」について
10	平成18年2月1日	鼻・副鼻腔疾患について
11	平成18年5月10日	腹痛について
12	平成18年8月2日	尿漏れ・排尿障害について

基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病气、検査、治療、見通しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

トピックス&ニュース

治験業務分野において

ISO9001:2000を取得しました

神戸赤十字病院では、治験業務において平成18年6月12日に品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001:2000の認証を取得しました。

ISOとは、スイスのジュネーブに本部をおく国際標準化機構の略称であり、国際的に通用する規格や標準類を制定するための国際規格を発行しています。国際規格には、ISO9001:2000（品質マネジメントシステム）のほかISO14001:2004（環境マネジメントシステム）、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）等、数多くの規格があります。

各国ごとに審査登録機関を審査・認定する機関が1つずつ設置されており、日本ではJAB（財団法人日本適合性協会）が認定機関となっています。JABにて認定された審査登録機関（ペリージョンソン レジストラ）により、国際的認証を受けました。

このISO9001:2000を取得するにおいて、治験事務局職員は一丸となつて、顧客満足度を重視した質の高い製品を実現することを目的に「PDCA（Plan・Do・Check・Action）のマネジメントサイクル」に基づいて、継続的改善を取り入れた品質マネジメントシステムを構築し維持しています。

認証取得が終わりではなく、スタートラインに立ったに過ぎず、これからが本当の意味でのISO9001への活動です。

今後、年2回の内部監査、

年1回の定期審査、3年に1回の更新審査を受けますが、日々、品質マネジメントシステムの継続的な運営・維持・改善を図り、治験業務の質の向上を目指していきたいと考えております。



第11回HAT健康セミナー報告

「腹痛について」

腹痛のなかでも急激に発症し、症状が強い場合を急性腹症と呼び、手術が必要となることが少なくありません。当院は救急医療に尽力しており、腹痛で受診される患者さまも多く、5月10日に「腹痛について」のテーマで、第11回HAT健康セミナーを開催いたしました。まず、門脇外科副部長より、腹痛の原因と想定される疾患について、時間が経つのを忘れるような詳しい説明があり、参加された方々は熱心にメモを取っておられました。続いて、佐藤婦人科部長より、子宮外妊娠や卵巣腫瘍茎捻転などの病气について、手術ビデオを交えて説明があり、文字だけではわかりにくい病气の状態を理解していただけたのではないのでしょうか。



『後発医薬品について』

薬剤部 安達 秀樹



院外処方箋をもらって先発品から
後発医薬品を選択する上での注意点

院外処方箋はこの4月より、医師が「後発医薬品への変更可」とすれば、調剤薬局にて患者さまのご希望により先発医薬品と成分が同じで同じ効き目があると認められた、後発（ジェネリック）医薬品に変更して調剤することが可能となりました。

患者さまは変更して調剤してもらうときには、価格・作用・副作用などについての説明を受けてください。価格については、変更する薬剤費だけでなく全体の支払い金額についても聞いておくとういでしょう。また、副作用はジェネリック医薬品の中には添加物が違うものも有り、患者さまによってはアレルギー出現の可能性のあるものや、色・味などが違うことで飲み難さ等があったりします。そのような、説明も受けてください。

個々の患者さまに適した、より安価でより安全なお薬を提供することが、調剤薬局の使命です。自分にあつたよいお薬を理解して渡してもらえる薬局を選ぶ事が大切です。

このような選択が将来的に良い薬局を作っていくのです。



救護班員に対するこころのケア研修を開催

救護班員への『こころのケア研修会』が、7月1日（土）に開催されました。参加者は24名で当院の医師、看護師、主事、兵庫県支部の職員の方々でした。この研修会は、災害時における被災者・救護者へのこころのケアに関する知識や技能を救護班員が身につけていくためのプログラムで、全国の赤十字の救護班員に登録されている職員を対象に行われているものです。

国際赤十字赤新月社連盟の「心理的支援プログラム」をベースにした内容で、災害時のこころのケアについてトレーニングを受けた「赤十字こころのケア指導員」が、当日はレクチャーにあたりました。特に被災者役と救護員役にわかれてのロールプレイ実習では、こころのケアにおける傾聴や連携姿勢のポイントを押さえて各グループとも対応がなされていました。こうした研修を通じてより一層、「救護の質」を高めていきたいと思います。



栄養課
だより

⑨



～ 鮭の柚庵焼き ～

【材料】

- ・紅鮭：70g
- ・バラン：1枚
- ・漬けダレ
- ・醤油：8g
- ・みりん：8g
- ・酒：8g
- ・柚子（輪切り）：2g
- ・すりごま：1g

【作り方】

- ①醤油、みりん、酒、柚子汁をまぜ、漬けダレを作る。
- ②生鮭を①の漬けダレに漬け込み15分以上漬けて置く。
- ③魚焼グリルで両面を色よく焼く。（途中で残った漬けダレをハケで塗る）
- ④焼き上がった魚を器に盛り、すり卸したごまをふりかける。



鮭は年中出回っていてお弁当の「おかず」にも良く登場しますが「秋鮭」といわれるように、この時期の鮭は脂のつておいしく、栄養価も増します。

鮭の身は赤味を帯びているのが特徴ですが、この色はアスタキサンチンという成分で、体の中で一部がビタミンAに変わり、夜間の視力を助け、皮膚や肌の健康を保つ働きがあります。

鮭の種類によって赤味の濃さに違いがあり、紅鮭はその名の通り赤味が強いのが特徴です。

うす味でもおいしく、ゆずの香りで焼き上げる「鮭の柚庵焼き」を紹介します。

「呼吸器外科って何？」

呼吸器外科部長 阪本 俊彦



阪本呼吸器外科部長

呼吸器外科

●呼吸器外科って何？

みなさんにとって、「呼吸器外科」は聞きなれない言葉だと思います。

元々は内科、外科しかなかった診療科が、医療の進歩に伴い、いろいろな科（脳神経外科、整形外科、循環器科、消化器科、呼吸器科・・・）と細分化されてきたように、呼吸器外科もその専門性を高めるため、胸部外科から分かれました。

現在、全国で呼吸器外科専門医（呼吸器外科を専門とする医師）は1138名おり、その中で呼吸器外科指導医（呼吸器外科医を育成する資格を持つ）は472名います。

●呼吸器外科で扱う疾患

- ・肺癌
- ・転移性肺腫瘍
- ・自然気胸
- ・縦隔腫瘍
- ・胸壁腫瘍
- ・膿胸
- ・炎症性肺疾患
- ・胸部外傷
- ・胸膜中皮腫等

●肺癌について

近年、肺癌は増加の一途を辿っています。厚生労働省の人口動態調査による癌死亡率統計では、男性肺癌の死亡率は急速に増加し、1993年に今まで1位であった胃癌死亡率を抜いて第1位になりました。2003年の死亡率の順番は肺癌、胃癌、肝臓癌、大腸癌、すい臓癌です。女性の2003年の死亡率の順番は胃癌、大腸癌、肺癌、乳癌、肝臓癌で肺癌は第3位です。また、肺癌と診断された中で、手術によって治すことが出来る早期例は2〜3割だといわれています。

肺癌の治療方法は病期（癌の進行度）によって大方決まっています。手術、抗癌剤、放射線治療を単独ないしは組み合わせで用います。

●当科の特徴

①胸腔鏡という内視鏡を使った手術を8割近い症例で行っています。傷が小さく、肋骨を切ることがありませんので、術後の痛みが少なく、早期の退院が可能です。肺癌の手術のための入院期間は10日〜14日です。

②当院では、対応が迅速であるため、入院待ちの期間が短くてすみます。（麻酔科の先生や手術室の看護師さんには無理を聞いていただいております。）

③呼吸器内科、放射線科との連携により最適な治療が選択できます。

④納得のいくまで説明をいたします。

●担当医

【部長】

阪本 俊彦（さかもと としひこ）

平成元年神戸大学卒

医学博士

日本外科学会専門医、指導医

日本胸部外科学会認定医、指導医

呼吸器外科専門医

日本呼吸器外科学会指導医

最後に本年3月より新設された診療科です。気軽に相談下さい。



胸腔鏡による手術